

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和6年6月17日（月）15時00分～17時00分	
開催場所	甲賀警察署4階大会議室	
出席者	委員	大隅忠司委員、武藤敬助委員、谷村ふみ子委員、上森秀夫委員、木村準子委員、脇阪昇委員、林初広委員、吉田昌孝委員、北村正之委員
	警察	筒居署長、松山副署長、近藤警務調査官、福岡留置管理調査官、松吉会計調査官、依田地域課長、岡本刑事課長、杉橋生活安全課長、中野交通課長、林警備課長
議事概要	<p>1 署長挨拶</p> <p>署長から「管内全域を俯瞰的に見ていき、市民が第一に考えている身近な困りごとを中心に一つ一つ解決していきたい。そして、特異な事件については、署員総出で取り組み、早期の事件解決を目指していく。本協議会では、警察の諮問機関という意味で警察に求めることを御指摘いただくとともに、我々の応援団になっていただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 警察署協議会の概要説明</p> <p>警察から、協議会の概要について説明がなされた。</p> <p>3 会長・副会長の選任</p> <p>委員の互選により会長に大隅委員が選出され、会長から副会長に武藤委員が指名された。</p> <p>4 会長挨拶</p> <p>会長から「協議会委員を5年務め、最後の1年となり寂しい気持ちではあるが、日々学びながら取り組んできた。本日の議題である特殊詐欺は毎日のように新聞報道されており、なぜこれほどまで被害が多発しているのか気になっており、しっかり協議していきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 甲賀警察署の主要事業概要等の説明</p> <p>警察から甲賀警察署の主要事業概要等の説明があった。</p> <p>その際、委員から、少年による薬物犯罪の広がりについての質問があり、警察から「若いうちから大麻に親和性をもっており、SNSを通じて安易にいつでも手に入る気軽さが、このような状況を招く要因ではないかと思われる。」旨の説明があった。</p> <p>また、委員から「パトカーでの警ら活動は犯罪抑止に大きな効果があると思う。空き巣事件が発生した地域での警戒を強化してほしい。」旨の意見を受け、警察から「制服警察官の姿を見せる街頭活動は重要であり、警らはもとより巡回連絡や立</p>	

番等の形で、可能な限り地域住民の要望に応えていきたい。」旨の説明がなされた。

また、「子どもたちの通学を見守っているが、交通ルールを守らない車が多い。」旨の意見を受け、警察から「危険な箇所は順次対応しているが、今後もタイムリーに情報をいただき、都度、活動に反映していきたい。」旨の説明がなされた。

## (2) 特殊詐欺の現状と対策

警察から、特殊詐欺の現状と対策について説明がなされた。

その際、委員から「迷惑メールが毎日何十件と送られてくるが、止める方法はないのか。」、「詐欺メールの相手は特定できるのか。」、「不審な電話は警察に情報提供が必要か。」旨の質問がなされ、警察から「迷惑メールはブロックする方法はあるが、100パーセント防ぐことはできない。詐欺メールに応じてしまったとしてもお金を支払う前に踏みとどまって周囲に相談をしてほしい。」、「相手のメールアドレスや電話番号から直接犯人に結び付けるのは容易ではないが、情報提供いただければ集約し、状況に応じた対応をする。」、「犯人を検挙できなくても、犯罪に加担しているツールと認められれば、差し止める等して他の犯罪を防ぐことができるので、可能な限り情報提供をお願いしたい。」旨の説明がなされた。

また、委員から「被害の多い年代である65歳以上の利用者は、銀行ATMで高額の振込や送金ができないよう金額制限をかけることはできないか。」旨の提言がなされ、警察から「全国的な施策として、制度として確立されれば効果的であると思われる。」旨の説明がなされた。

さらに、委員から「SNS等のインターネットを使い始める時期が低年齢化しており、傾向を教えるなど年代に応じた対策や教育が必要である。」、「詐欺被害から身を守るための心構えを持つよう、もっと世間に知らしめる必要がある。」、「SNSの利用により子どもたちの実態が見えない中で、自治会を通じた啓発活動など、地道な取組が被害防止につながるのではないか。」旨の意見がなされ、警察から「自身の知識に自信がある人ほど騙されやすい傾向にある。犯人は高度な知識レベルで近づいてくることから、信じ込んでしまう人がいる。引き続き、年代に合わせた防犯教室等を通じて注意喚起をしていく。」旨の説明がなされた。

## 6 次回協議会の日程

9月下旬に開催予定